

第 24 回東京免疫フォーラム

24th Molecular Immunology Forum Tokyo

日時：2015年2月25日(水) 13:00~18:00

場所：東京大学医科学研究所 講堂（1号館1階）

東京都港区白金台4-6-1 <東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線“白金台駅”下車、徒歩5分>

《 挨拶 》 烏山 一（東京医科歯科大学） 13:00-13:05

Session 1 自然リンパ球の分化と機能 座長：小安 重夫（理化学研究所）
佐藤（高山）尚子（パスツール研究所） 13:05-13:30
「感染防御におけるNKp46⁺自然免疫リンパ球の役割と制御」
後藤 義幸（東京大学 医科学研究所） 13:30-13:55
「3型自然リンパ球は腸管上皮細胞の糖鎖修飾を制御する」

Session 2 自然免疫による疾患制御 座長：斎藤 隆（理化学研究所）
菅波 孝祥（東京医科歯科大学） 13:55-14:20
「脂肪組織リモデリングと異所性脂肪蓄積の新たな分子機構」
柳井 秀元（東京大学 生産技術研究所） 14:20-14:45
「自然免疫受容体 Dectin-1 によるがんの認識と排除」

< 休憩 15分 >

Session 3 ヘルパーT細胞の分化と機能 座長：渋谷 彰（筑波大学）
森山 彩野（理化学研究所 統合生命医科学研究センター） 15:00-15:25
「濾胞性ヘルパーT細胞の胚中心局在制御機構の解明」
遠藤 裕介（千葉大学） 15:25-15:50
「IL-33-p38 シグナルによる病原性メモリーTh2細胞の誘導」

Session 4 免疫システムの制御 座長：高木 智（国立国際医療センター）
秋山 伸子（東京大学 医科学研究所） 15:50-16:15
「胸腺髄質上皮細胞分化のネガティブフィードバック制御」
戸塚 直也（筑波大学） 16:15-16:40
「TLR4と免疫受容体MAIR-IIは炎症性単球の感染局所への移入を促進する」

< 休憩 15分 >

Session 5 公募演題講演 座長：中島 裕史（千葉大学）
柴田 岳彦（国立感染症研究所） 16:55-17:15
「Gas6/TAM シグナリングによる免疫応答の制御」
小林 俊彦（国立国際医療センター研究所） 17:15-17:35
「ライソゾーム局在型アミノ酸輸送体 SLC15A4 は I 型インターフェロン産生制御機構を介して SLE 病態に寄与する」
菅野 敦夫（東京大学 医科学研究所） 17:35-17:55
「抗 TLR7 抗体による炎症性疾患への治療介入」

< 懇親会（演題終了後 於 医科研生協・白金ホール） >

フォーラムへの参加費は無料、懇親会参加費は千円（学生無料）です。事前登録の必要はありません。